

開設科目

博士前期課程

科目の種類	科目	
必修科目	修士論文指導	
選択必修科目	教育基礎学コース	教育史概説 教育史事例研究Ⅰ 教育史特殊研究Ⅰ 教師教育概説 教師教育事例研究Ⅰ 教師教育特殊研究Ⅰ 教育行政概説 教育行政事例研究Ⅰ 教育行政特殊研究Ⅰ 特別支援教育概説 特別支援教育事例研究Ⅰ 特別支援教育特殊研究Ⅰ
	教育実践学コース	授業研究概説 授業研究事例研究Ⅰ 授業研究特殊研究Ⅰ 音楽教育概説 音楽教育事例研究Ⅰ 音楽教育特殊研究Ⅰ 国語教育概説 国語教育事例研究Ⅰ 国語教育特殊研究Ⅰ 社会科教育概説 社会科教育事例研究Ⅰ 社会科教育特殊研究Ⅰ 図画工作教育概説 図画工作教育事例研究Ⅰ 美術教育特殊研究Ⅰ 英語教育概説 英語教育事例研究Ⅰ 英語教育特殊研究Ⅰ
	教育創造コース	算数とICT概説 算数とICT事例研究Ⅰ 数学とICT特殊研究Ⅰ 体育と健康・スポーツ科学概説 体育と健康・スポーツ科学事例研究Ⅰ 体育と健康・スポーツ科学事例特殊研究Ⅰ 理科と環境概説 理科と環境事例研究Ⅰ 理科と環境特殊研究Ⅰ 生活科と総合学習概説 生活科と総合学習事例研究Ⅰ 総合学習特殊研究Ⅰ 家庭科と食育概説 家庭科と食育事例研究Ⅰ 家庭科と食育特殊研究Ⅰ
	コース共通	教育学特別研究Ⅰ 教育学特別演習Ⅰ
選択科目	他専攻設置科目 各専攻共通科目 大学院交流科目	

博士後期課程

科目の種類	科目	
必修科目	博士論文指導	
選択必修科目	教育基礎学コース	教育史事例研究Ⅱ 教育史特殊研究Ⅱ 教師教育事例研究Ⅱ 教師教育特殊研究Ⅱ 教育行政事例研究Ⅱ 教育行政特殊研究Ⅱ 特別支援教育事例研究Ⅱ 特別支援教育特殊研究Ⅱ
	教育実践学コース	授業研究事例研究Ⅱ 授業研究特殊研究Ⅱ 音楽教育事例研究Ⅱ 音楽教育特殊研究Ⅱ 国語教育事例研究Ⅱ 国語教育特殊研究Ⅱ 社会科教育事例研究Ⅱ 社会科教育特殊研究Ⅱ 図画工作教育事例研究Ⅱ 美術教育特殊研究Ⅱ 英語教育事例研究Ⅱ 英語教育特殊研究Ⅱ
	教育創造コース	算数とICT事例研究Ⅱ 数学とICT特殊研究Ⅱ 体育と健康・スポーツ科学事例研究Ⅱ 体育と健康・スポーツ科学特殊研究Ⅱ 理科と環境事例研究Ⅱ 理科と環境特殊研究Ⅱ 生活科と総合学習事例研究Ⅱ 総合学習特殊研究Ⅱ 家庭科と食育事例研究Ⅱ 家庭科と食育特殊研究Ⅱ
選択科目	コース共通	教育学特別研究Ⅱ 教育学特別演習Ⅱ
	他専攻設置科目 各専攻共通科目 大学院交流科目	

入試科目

博士前期課程	●教育学専門Ⅰ ●教育学専門Ⅱ(小論文) ●外国語原書講読(英語、外国人受験生は日本語) ●口述試験
博士後期課程	●論文 ●外国語原書講読(英語、外国人受験生は日本語) ●口述試験

※前期・後期課程共に教職3年以上の経験者(非常勤を含む)は、外国語原書講読の試験に辞書持ち込み可

学習院大学大学院

人文科学研究科 教育学専攻



学習院大学大学院 人文科学研究科教育学専攻

学習院大学人文科学研究科のホームページをご参照ください。
<http://www.gakushuin.ac.jp/univ/let/edu/daigakuin/index.html>

詳しくは、学習院大学文学部教育学科事務室にご連絡ください。
 〒171-8588 東京都豊島区目白1-5-1 TEL: 03-5992-1267 Email: edu-off@gakushuin.ac.jp

教育のプロフェッショナルとして、
高度な専門的知識と
実践的見識を学ぼう

入学定員

博士前期課程：20名
(秋期入試10名 春期入試10名)

博士後期課程：5名



本専攻の特色

1

グローバル時代の学校を担うにふさわしい教育のプロフェッショナル養成をめざします。第一線で活躍する教授と講師陣のもとで教育研究、教科教育、環境教育の最先端の知識と見識が培われます。

2

学習目的をふまえ、教育基礎学コース、教育実践学コース、教育創造コースの3コースから最もふさわしい課程が選べます。

3

専門家教育の中心は理論と実践の統合にあることから、各コースとも事例研究を充実させています。専門家として省察と判断の力を高めることができます。

4

フィールドワーク、観察研究、実習等の実践的探究を通し、教育学と学校現場との往還的関係を創出することを目指します。

5

市民性の教育、ICT教育、野外教育、環境教育など、現代性の高い専門知識が得られます。

6

目白駅から30秒という好立地のため、首都圏の方は在職のまま入学し履修をすることも可能です。

本専攻の掲げる 教職専門性の五つの基準

1. 教職の公共的使命を深く認識し、子どもの学びの委託に応える教育科学と学習科学を体得している。
2. 学問的教養と教職教養を基礎として、教科の内容と学び方について深い理解を形成している。
3. 学校と教室の文化的・社会的文脈について認識し、創造性と協同性を啓発する方法で教育実践を遂行する。
4. 教育実践について反省的で系統的な研究を行い、専門家共同体の一員としての同僚性を発揮して学校経営に参加し、教育の質の向上に貢献する。
5. 市民性の教育、ICT教育、野外教育、環境教育、多文化教育など、現代の課題を担い、地域の保護者や市民、他の専門家と協同して学校教育の創造的革新を推進する。

本専攻では、以下の五つの＜教職専門性基準＞を掲げてカリキュラムを編成し、高度の専門性と見識を備えた教師、教育行政関係者、教育研究者を養成します。



本専攻の三つのコースの特徴

本専攻は、以下の3コースを設け、目的別の教育を行います。入学後、各コースに分かれて専門的指導を受けます。コース間の境界は緩やかで、他コースの履修は自由です。

教育基礎学コース

教育学の専門的研究を中心とするコースです。最先端の教育学の知識を教育し、高度の専門性を備えた教師(前期課程、後期課程)、教師教育に携わる研究者(後期課程)を養成します。

教育実践学コース

授業研究、各教科教育研究を中心とするコースです。21世紀型の授業と学びを推進する専門性の高い教師(前期課程、後期課程)、教師教育に携わる研究者(後期課程)を養成します。

教育創造コース

市民性の教育、ICT教育、野外教育、環境教育など、教育の現代的課題を中心に専門性の高い教師(前期課程、後期課程)、教師教育に携わる研究者(後期課程)を養成します。

教育学専攻教員紹介

専任教員



秋田 喜代美※ 文学部教授
授業科目：授業研究概説、授業研究特殊研究など

博士(教育学)。
授業や保育実践とカリキュラム研究、学校教育等のアクションリサーチ研究をしています。



伊藤 亜矢子※ 文学部教授
授業科目：特別支援教育特殊研究Ⅰ
特別支援教育事例研究Ⅱ

博士(教育学)。
スクールカウンセリングや学級風土コンサルテーションなど
学校臨床心理学から、支援的な学校環境について実践研究をしています。



飯沼 慶一 文学部教授
授業科目：生活科と総合学習概説、
生活科と総合学習事例研究など

博士(農学)。
環境教育を中心に、子どもの自然とのかかわりや遊びについて研究しています。



岩崎 淳※ 文学部教授
授業科目：国語教育概説、国語教育事例研究、
国語教育特殊研究など

修士(教育学)。
古典教育、表現指導、教材・教科書・読書指導の研究を重点的に進めています。



梅野 正信※ 文学部教授
授業科目：社会科教育概説、社会科教育事例研究、
社会科教育特殊研究、など

博士(学校教育学)。公民系教育、道徳教育、人権教育等を中心に、学習方法や教材・授業開発、教科書比較などに取り組んでいます。



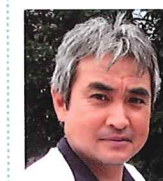
小原 豊 文学部教授
授業科目：算数とICT事例研究、数学とICT特殊研究など

修士(教育学)。
算数・数学教育及び情報教育を中心に、STEM教材開発や授業分析を研究しています。



黒川 雅子 文学部教授
授業科目：教師教育概説、教師教育事例研究など

修士(家政学)。
教員にスクール・コンプライアンスが求められている背景、その具体的内容について研究を重ねています。



佐藤 陽治 文学部教授
授業科目：体育と健康・スポーツ科学概説、
体育と健康スポーツ科学事例研究など

修士(体育学)。
専門種目はテニス。健康教育学、スポーツ科学(運動生理学、戦術学)および野外教育を研究しています。



嶋田 由美※ 文学部教授
授業科目：音楽教育概説、音楽教育事例研究、
音楽教育特殊研究など

博士(教育学)。
教材に焦点をあてた唱歌教育史研究、および歌唱におけるリズム変容を研究しています。



須田 将司※ 文学部教授
授業科目：教育史概説、教育史事例研究、
教育史特殊研究など

博士(教育学)。
近現代日本教育史を専攻し、全国各地の史料をもとに、特に1930～60年代の教育政策・教育実践の変転と歴史的意義を探究しています。



宮盛 邦友 文学部准教授
授業科目：教育行政概説、教育行政事例研究、
教育行政特殊研究など

修士(教育学)。
子どもの権利と教育基本法を軸として、人間・国家と教育の関係を批判的に再構成する研究に挑戦しています。

※ ※の付してある教員は、博士後期課程の指導教員も担当です。

充実した研究環境



教育学専攻では、院生のみが使用できる院生控室(北1号館)や個人学習室(東1号館)など、個人の研究活動を支える施設に加え、研究会・勉強会に最適なグループ学習室(東1号館)を準備しております。研究活動や自主的研究会の開催などにご活用ください。